【携帯型の単体オプション/●印は標準構成のスペア】

※表示の寸法は約/突起物含まず

● EA-XF5 (Nのみ) JAN:4969182394559	アンテナ	ホイップ型 50Ω/SMA 重量約25g アンテナ長 160mm 最大直径 14mmφ Pタイプのアンテナは技術基準適合上の理由から、故障時は修理対応
• EBP-500S JAN:4969182394566	電池パック4本セット	ニッケル水素充電池 公称電圧1.2V/2400mAh / 使用温度範囲-10℃~50℃ 充電時間: 放電状態から満充電まで約10時間 / 充電温度範囲 0℃~40℃ 寸法 単三型乾電池と同等 質量 約30g(×4本)
● EDC-500 JAN:4969182394535	充電用スタンド	寸法 61mmH × 97mmW × 100mmD 入力電圧 5.0~6.5VDC DC 入力端子 単体用DC ジャック(EIAJ RC-5320A),Micro USE
■ EDC-501 JAN:4969182394511	充電用AC アダプタ	PSE適合、入力 AC100-240V / 50-60Hz / 出力電圧 6.0V DC 最大出力電流約2.5A / ショート、過電圧保護付き / コード長 約1.5m
EHC-5 JAN:4969182394573	革ケース	人工皮革製 ・
EBC-33 JAN:4969182394313	ベルトクリップ	ステンレス製
EMS-71 (Pのみ) JAN:4969182394122	防水スピーカーマイク	IP67相当の耐魔・防浸 イヤホン用ジャックは付属せず 裏面に回転クリップが付属
EME-60 JAN:4969182394542	イヤホン	プラグ形状 φ3.5mm 4極プラグ(ねじ付) コード100cm
ESC-58 JAN:4969182394351	イヤホンケース	ハードケースEHC-5のショルダーベルトに取り付けて使用、人工皮革製

■一般仕様 *本書に記載がない性能定格・仕様は、消防救急デジタル無線共通仕様書に準拠しています。

デジタル受信周波数	200MHz帯 デジタル消防救急無線周波数		
アナログ受信周波数 (N/P/CR/FU共通)	特定小電力 421.575~422.300MHz 最大 48 チャンネル 消防無線 142.000~154.990MHz 最大 126 チャンネル 署活系無線 466.350~467.375MHz 最大 80 チャンネル FM ラジオ 65.0~89.9MHz 最大 7 チャンネル+選局モード ※全て指定のChだけを設定して納入(バンド受信は不可)		
周波数ステップ	6.25KHz		
アクセス/変調方式	SCPC / π/4 シフト QPSK		
空中線インピーダンス	50Ω 不平衡(DR-XF5系はダイバーシチ受信対応)		
電源電圧	DJ-XF5N/P: 4.8~7V DR-XF5N : 12~28V DR-XF5CR/FU: 12~16V		
消費電流(約)	DJ-XF5共通:0.3A以下(アナログOFF時)/最大出力時:0.5A DJ-XF5P : 特小無線送信時 0.4A DR-XF5共通:0.25A以下/最大出力時:0.5A DR-XF5CR/FU: 特受時 0.35A以下/最大出力時:1A 5W出力送倡時:2.5A 以下		

電池使用時間	デジタル波受信1: 待受19(定格)にて DJ-XF5/DR-XF5共通 8時間以上
外形寸法 (約/突起物含まず)	DJ-XF5 H115mm × W58mm × D43mm DR-XF5 H50mm × W172mm × D162mm
質量 (約/本体のみ)	DJ-XF5(共通): 240g以下 DR-XF5N : 900g 以下 DR-XF5CR/FU: 1200g 以下
温度範囲 本体 電池パック	性能保証:-10℃~50℃/動作保証:-20℃~60℃ 充電:0℃~40℃/放電:-20℃~60℃
湿度範囲	95%以下(35℃)
外郭保護性能	DJ-XF5: IP67 耐塵防浸 DR-XF5: IPX2 防滴II相当
対環境性	RoHS適合

■電気的特性

受信方式	ダブルスーパーヘテロダイン方式	
音声出力	DJ-XF5 0.5W以上 / DR-XF5 2W以上(音声最大時)	

※ 本製品は防爆仕様ではありません。

■準拠する規格

*消防救急デジタル無線共通仕様書第一版

*狭帯域デジタル通信方式(SCPC/FDMA)標準規格 ARIB STD - T61 1.2 版 消防教急デジタル無線

*総務省技術適合基準 デジタル簡易無線登録局 ARIB STD - T98 1.1版(DR-XF5CRのみ) / 特定小電力無線 ARIB STD-20 4.1版(DJ-XF5Pのみ) *振動、衝撃 JIS - 衝撃: JIS C 60068-2-27 - 振動: JIS C 60068-2-6 MIL STD-810G または相当の下位規格 - Shock: Method 514.6/I,IV - Vibration: Method 516.6/I

■外郭保護等級について(お願い:必要以上に乱暴に電子機器を扱うことは、お止めください。)

IP67 耐塵:埃や塵が直ちに製品の故障に繋がらない。防浸:特定の条件で真水が製品内部に浸透しない。

IPX2 防滴II:15°以内で傾斜しても垂直に滴下する水に対して保護されている。

充電器など、特に外郭保護を謳っていないアクセサリーには適用されません。風圧や水圧が掛かる場合、金属製・油性・酸や塩分・化学物質を含む等の特殊な粉塵や液体の場合は、これらの外郭保護性能は保証されませ ん。部品に使われている素材は経年変化のために変質し、保護性能が低下します。外郭保護が非常に重要な場合は、定期的な保守点検をお勧めします。振動と衝撃に関してはJIS規格と、米軍納入規格MILスペックの MIL-STD-810に準拠した試験をクリアしています。「衝撃」とは、固い地面に製品を落とす「落下」とは異なり、例えば急ブレーキで大きなGがかかるようなことを想定した試験です。



定格・仕様・外観等は予告なく変更することがあります。使用方法、保守・点検などアフターサービスに関するお問い合わせは、まず、本製品を管理される自治体組織の通信機器担当者様にご相談ください。 ↑ ご注意 掲載の写真の画像は一部合成しています。撮影・印刷の条件により、色調は実物と異なって見えることがあります。又、品番などの表示や部品の色、表面仕上げなどは実際と僅かに異なるものがあります。 使用方法や使用環境によって、電池バックの実用時間は大きく変わることがあります。

アルインコ株式会社

- ●東京営業所 〒103-0027 東京都中央区日本橋2丁目3-4日本橋ブラザビル14階 ☎03-3278-5888(代表)
- ●大阪営業所 〒541-0043 大阪市中央区高麗橋4丁目4-9淀屋橋ダイビル13階 ☎06-7636・2361(代表)
- ●福岡営業所 〒812-0013 福岡市博多区博多駅東2丁目13-34エコービル2階 ☎092-473-8034(代表)

正しく安全にお使いいただくため、ご使用の前に 必ず「取扱説明書」をよくお読み下さい。

●販売元

株式会社エクセリ 東京都中央区日本橋浜町2-30-1 / 大阪府大阪市中央区久太郎町1-9-5 お問い合わせ総合ダイヤル 03-3662-0551 URL:https://www.exseli.com/

FNFLEINE-PE

ALINGO

DJ-XF5N

JAN: 4969182350319

DJ-XF5P

特定小電力無線機 内蔵仕様

JAN: 4969182350326 総務省技術基準適合品





総務省消防庁 消防救急デジタル無線共通仕様書準拠

消防救急デジタル無線

受令システム

XF5 シリーズ

署所端末/車載用

DR-XF5N

基本仕様

JAN: 4969182341003

デジタル簡易無線登録局内蔵仕様

DR-XF5FU

消防署活系アナログ無線内蔵仕様

共に総務省技術基適合品ユニット内蔵



【重要】本製品は、一般消費者を対象としたものではありません。本製品の購入と使用は自治体が認める関係者に制限され、全ての製品は製造番号によって使用者が特定できるよう管理されています。 チャンネルや基本の機能は、守秘義務があるプログラミングソフトを使って発注元の指定通りに設定してから納品されます。ユーザーが個別に機能設定をリクエストしたり、納入後に自分で設定を書き換えることはできません。 変更する場合は発注元の管理責任者の依頼により、納入者側が再設定します。納品後の設定機能、操作方法。保守・点検については管理責任者にご相談ください。







DI-XF5P

【DJ-XF5の標準構成】



- ■DJ-XF5 本体
- ■電池パック EBP-500S(4本セット)
- ■充電器 EDC-500
- ■充電器用 ACアダプター EDC-501
- ■アンテナ EA-XF5(DJ-XF5Nのみ/XF5Pのアンテナは本体に固定)
- ※納入の仕様により、異なる場合があります。単体オプションは裏表紙をご覧ください。

主な仕様と機能

- ●任意の数にバンク分けできる、合計256chの受信チャンネルを装備
- ●単三アルカリ乾電池4本でも6時間の受信を実現
- ●基地局FH群と移動局FL群の信号を受信、交互スキャンで自動モニタリングも可能
- ●総務省消防庁の仕様に基づくJ-ALERT受信機能
- ●「パスワード認証 |でセキュリティ管理は安心
- ●付属充電池、ACアダプター代わりに使える付属充電スタンド、アルカリ乾電池と、 3Wayのマルチ電源仕様
- ●付属充電スタンドは、市販のMicro USBケーブルでパソコンやUSB式ACアダプター に接続して充電が可能
- ●デジタル消防救急波と自動切り替えでアナログFMラジオ放送、アナログVHF消 防救急波、UHF消防署活系、特定小電力無線も受信
- ●グループセレコールは最大で62グループ実装可能、個人宛てのメッセージ発報 にも対応(応答確認はできません)
- ●フルドットマトリクス液晶で、JIS第一、第二水準の漢字、カナ、英数字、記号を表示
- ●液晶表示でも着信を知らせる一斉受信機能(音声、ショートメッセージ)
- ●電池パックは定格出力で8時間以上、最大ボリュームで連続して鳴らし続けても3 時間以上の運用時間を達成(EBP-500 使用、LEDランプ:OFF、アナログ:OFF)
- ●1件60秒、最大10件まで、出動など特定の指令を受信したときの信号を自動録音
- ●P仕様はN仕様と同等の機能に加えて特定小電力無線の単信、半複信全47chで 送受信が可能
- ※P仕様のアンテナは固定式となりますので外部アンテナは接続できません。特にアナログVHF消防教急波の 受信可能エリアは従来のアナログ受令機よりも狭くなることがあります。



ねじ込み式のイヤホンで万全の防水 ※ベルトクリップEBC-33は別売です。



ハードケースをつけたままで使える充電器は、充電 しながら、または電池なしで本体を載せて受信する 「ACアダプター付きスタンド」としても機能



単3アルカリ乾電池でも受信が可能

車載·署所端末受令機

DR-XF5N/CR/FU







■スピーカーマイク EMS-500 (DR-XF5CR/FUに付属)

DR-XF5CR/FU

【DR-XF5の標準構成/共通】

- ■DR-XF5 本体
- ■ギボシ端子付DCケーブル UA0086
- ■取り付けブラケット BG0018およびネジー式(BG0018のスペアは部品として販売)

DR-XF5N

CR仕様はデジタル簡易無線登録局、

FU仕様は免許された消防署活系アナログ無線のチャンネルで送受信が可能



SMAコネクター(CR/FU仕様)

ダイバーシチ受信用 M型コネクターを2個搭載(共通)

ヒューズ定格 5A

P67の耐塵·防浸型

マイクハンガー金具付

車載型をAC100Vで使うとき

EDS-21(別売)でプラグ形状

のACアダプター

を変換して接続

イヤホン接続可能



単3アルカリ乾電池6本を内蔵、外部電源なしでも受信できます。

[車載型の単体オプション/●印は標準構成のスペア]

防水スピーカーマイク(CR/FU)

EMS-501 JAN:4969182394696

EMS-500 JAN:4969182394405

EDC-702

EDS-21

主な仕様と機能

- ●バンクあたり16ch,最大16バンクまで任意に設定できる合計256chの受 信チャンネルを装備
- ●基地局FH群と移動局FL群の信号を受信、交互スキャンで自動モニタ リングも可能
- ●総務省消防庁の仕様に基づくJ-ALERT受信機能
- ●「パスワード認証 |でセキュリティ管理は安心
- ●定期的に自動で動作チェック、故障が有れば知らせる自己診断機能と、 CPUハングアップを回避する自動リフレッシュ機能
- ●デジタル消防救急波と自動切り替えでアナログFMラジオ放送、アナ ログVHF消防救急波、UHF消防署活系、特定小電力無線も受信
- ●グループセレコールは最大で62グループ実装可能、個人宛てのメッ セージ発報にも対応(応答確認はできません)
- ●フルドットマトリクス液晶で、JIS第一、第二水準の漢字、カナ、英数字、 記号を表示
- ●液晶表示でも着信を知らせる一斉受信機能(音声、ショートメッセージ)
- ●単3アルカリ乾電池6本を内蔵、外部電源なしでも受信可能
- ●1件60秒、最大10件まで、出動など特定の指令を受信したときの信号を 自動録音
- ●N仕様はDC12V/24V両方に対応(CR/FU仕様は12Vのみ)
- ●ツイン仕様のMコネクターは受信形態やアンテナの設置本数に合わせ てダイバーシチ(デジタル2系統&アナログ1系統)、シングル(1系統で D/A共通)、セパレート(デジタル1系統、アナログ1系統)を切り替え可能

【送信機能内蔵機種の運用周波数範囲】

- ●CR仕様:デジタル簡易無線登録局の全チャンネル
- ●FU仕様:免許された消防署活系アナログ無線のチャンネル
- 単三アルカリ乾電池6本の予備電源でも動作しますが、出力や運用時間は外部電源運用時より劣ります。

■資格不要: CRもFUもKm単位の通話ができるため、特に消防団では訓練や捜索時などの連絡に

■免許、登録とコスト:事前に総務省に有償の申請を行い、年単位で電波利用料がかかります。詳し くは販売店にご相談ください。

